

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 九州大学

学部・研究科等名 総合理工学研究院

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目Ⅱ「研究成果の状況」

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名 「研究成果の状況」

筒井哲夫名誉教授（平成 20 年 3 月定年退職）は、研究科発足以来、長期に渡って総合理工学研究院（研究科）の教員として教育・研究に携わってきたが、平成 21 年 5 月に、「長年に渡って、有機化学、有機材料学の教育・研究に努め、有機エレクトロルミネッセンスの開発研究など有機エレクトロニクス分野の先駆的な研究を通じて同分野の発展に大きく貢献した」との理由で、平成 21 年度の春の紫綬褒章を受章された。筒井名誉教授は、総合理工学研究院と先導物質化学研究所との人事交流で、平成 18 年度から先導物質化学研究所に異動したが、受賞の対象になった研究のほとんどは本研究院で実施された。

本研究院の田辺哲朗教授は、科学研究費研究の特定領域研究「核融合炉実現のためのトリチウム研究の新展開」（平成 19 年度～平成 23 年度）の代表を務めているが、平成 21 年度に中間評価を受けた結果、進捗状況が極めて良好であり平成 22 年度からさらに 2 年間の継続がみとめられただけでなく、1,000 万円の追加配分を受けている。以下に、平成 20 年から平成 21 年にかけての田辺教授の著名な国際会議での 5 つの招待講演を記す。

1. 14th Intern. Conf. on Fusion Reactor Materials, Sep. 6-11, 2009, Sapporo Japan.
2. Third ITER International Summer School: Plasma Surface Interaction, June 22-26, 2009, Aix en Provence, France
3. 12th Intern. Workshop on Plasma-Facing Materials and Components for Fusion Applications May 5-8, 2009, Juelich Germany.
4. Second ITER International Summer School: Confinement, July 22-26, 2008, Fukuoka, Japan
5. 9th Intern. Workshop on Hydrogen Isotopes in Fusion Reactor Materials, June 2-3, 2008 Salamanca, Spain.